

第2次総合計画施策評価シート《令和5年度分》

施策コード	基本目標	5	【都市基盤】 良好な都市基盤が整った便利で快適に暮らせるまち															
5	—	1	施策目標	1	上下水道の充実													
SDGs 連携分野	目標6. すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する																	
	目標11. 包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する																	
	目標14. 持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する																	
 6 安全な水とトイレを世界中に				 11 住み続けられるまちづくりを	 14 海の豊かさを増そう													

目指すべきまちの姿	強靱で信頼できる水道により安全で安心なおいしい水が供給され、また、下水道の整備と普及により衛生的な生活環境が確保されています。
-----------	---

●主要施策と概要【PLAN】		この1年間の成果及び反省点【DO】	担当課	評価【CHECK】
(1) 公共下水道事業の推進【重点施策】 ・市街化区域及び団地等の人口密集区域の公共下水道の整備を進めます。		市街化区域の整備を行い、生活環境の向上に取り組みました。下水道整備に係る事業費が大きいため、計画的、効率的に整備を進める必要があります。	下水道課	A
(2) 農業集落排水施設等の適正管理 ・農業集落排水施設等の適正な維持管理と接続の促進を図ります。		施設の適切な維持管理に取り組みました。今後は、施設の老朽化に備えて、機能強化工事を進める必要があります。	下水道課	A
(3) 下水道事業の健全運営 ・施設の効率的な維持管理の推進、経費の節減などにより、下水道事業の健全運営を目指します。		公営企業会計手法による経営の見える化を行い、施設の効率的な維持管理、経費節減を行い、下水道事業の健全運営に取り組みました。今後は使用料の見直し、更なる経費節減に取り組む必要があります。	下水道課	A
(4) 水道施設の整備 ・水道施設の老朽化対策及び地震等災害対策として、耐震性の低い経年管や配水池等その他老朽化施設の耐震化又は更新を進めます。		水道施設の老朽化対策及び地震等災害対策として、塩化ビニル管更新事業を推進し、また、佐屋配水場設備更新事業の実施設計業務委託を施行しました。今後は、佐屋配水場の電気・機械設備の更新を進めていきます。	環境課	B
(5) 水道事業の健全運営 ・業務の効率化や定員管理の適正化等、経費削減及び適切な建設投資を進め、より質の高いサービスを実施します。		海部南部水道企業団新水道ビジョン及び経営戦略に基づき、水道広域化の調査・検討に取り組みました。今後は、更なる事務の効率化、経費節減を進める必要があります。	環境課	B

●施策目標に対する市民満足度	単位	現状値 (平成29年度)	目指す方向性	中間値 (令和4年度)
下水道・排水処理施設の整備	%	25.2	↗	37.2

●成果指標	単位	現状値	各年度の実績値					目標値 (目指す方向性)	
		(平成29年度)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度	令和10年度
(1) 汚水処理人口普及率	%	49.9	73.2	75.9	80.3	81.4	83.3	82.7	93.2
(1) 公共下水道整備率	%	31.6	36.0	39.6	41.4	68.1	71.3	73.2	94.2
(2) 農業集落排水接続率	%	80.0	82.6	82.0	83.2	84.4	83.8	↗	↗
(3) 収益的収支比率（％）（公共下水道）	%	105	117.6	122.5	100.3	106.7	103.64	102	101
(3) 公営企業会計移行事業全体進捗率	%	80.0	100	100	100	100	100	↗	↗
(4) 配水池の耐震化率	%	30.7	30.7	30.7	30.7	30.7	30.7	36.0	36.0
(4) 上水道老朽管（塩化ビニル管）の改修率	%	28.0	36.9	42.5	47.2	51.1	54.2	71.2	100.0

事業No	実施計画に係る事業名	担当部署	今後の進め方【ACTION】	
(1)	公共下水道施設建設事業	下水道課	経営戦略に基づき、概成に向けて今後も市街化区域の下水道整備を進めていきます。	現状維持
(2-1)	農業集落排水施設管理事業	下水道課	全処理地区が整備済であるため、維持管理を中心に事業を進めて行きます。また、汚水処理施設については機能強化工事を進めて行きます。（予防保全型維持管理）	現状維持
(2-2)	コミュニティ・プラント管理事業	下水道課	維持管理を中心に事業を進めて行きます。機器の老朽化に対しては、優先順位を決めて効率的に取り組みます。	現状維持

施策の今後の方針【ACTION】	公共下水道施設建設事業については、10年概成アクションプラン整備計画に基づき、引き続き市街化区域及び人口集中地域を重点的に整備するとともに、整備済み区域内については、接続率の促進に努める必要があります。農業集落排水施設管理事業及びコミュニティ・プラント管理事業については、施設の長寿命化を図るために効率的な施設の更新等に取り組む必要があります。
------------------	--

第2次総合計画実施計画事業評価シート《令和5年度分》									
事業No	実施計画に係る事業名					課	グループ	作成日	
(1)	公共下水道施設建設事業					下水道課	下水道グループ	令和6年4月30日	
■総合計画の位置づけ									
基本計画	基本目標	5	【都市基盤】 良好な都市基盤が整った便利で快適に暮らせるまち					重点施策	
	施策目標	1	上下水道の充実					○	
	主要施策	1	公共下水道事業の推進						
	主要事業		公共下水道施設建設事業						
SDGs 連携分野	目標6. すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する								
	目標11. 包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する								
	目標14. 持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する								
	6安全な水とトイレを世界中に 11住み続けられるまちづくりを 14海の豊かさを守ろう								
■事業内容【PLAN】									
事業目的	公共下水道の整備を図り、都市の健全な発達及び公衆衛生の向上に寄与し、あわせて公共用水域の水質の保全に資することを目的とします。					主な協働・関連団体等			
事業概要	市街化区域及び団地等の人口密集区域について、公共下水道を整備します。整備予定箇所としては、佐古木、五明地内等を予定しています。					関連する個別計画・根拠法令等	弥富市污水適正処理構想		
							下水道法		
							都市計画法		
事業の開始・終了	開始年度	平成18	年度	終了年度	令和10	年度			

■事業費(単位:千円)【DO】										
事業内訳	令和5年度(実績)		令和5年度(計画)		令和6年度(計画)		令和7年度(計画)			
	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)		
	工事請負費	813,182	工事請負費	707,000	工事請負費	670,000	工事請負費	670,000		
	(補助額)	254,300	(補助額)	247,300	(補助額)	248,000	(補助額)	248,000		
	調査設計委託料	88,493	調査設計委託料	100,400	調査設計委託料	60,000	調査設計委託料	60,000		
	(補助額)	25,000	(補助額)	20,000	(補助額)	20,000	(補助額)	20,000		
	補償金	18,055	補償金	67,812	補償金	72,000	補償金	72,000		
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)			
	建設負担金	5,992	建設負担金	7,096	建設負担金	27,000	建設負担金	27,000		
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)			
	需用費	9	需用費	22	需用費	22	需用費	22		
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)			
	合 計	925,731	合 計	882,330	合 計	829,022	合 計	829,022		
	(補助額)	279,300	(補助額)	267,300	(補助額)	268,000	(補助額)	268,000		
成果指標			単位	現状値 (平成29年度)	各年度の実績値					目標値(目指す方向性)
					令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度 令和10年度
(1) 汚水処理人口普及率			%	49.9	73.2	75.9	80.3	81.4	83.3	82.7 93.2
(1) 公共下水道整備率			%	31.6	36.0	39.6	41.4	68.1	71.3	73.2 94.2

第2次総合計画実施計画事業評価シート《令和5年度分》									
事業No	実施計画に係る事業名					課	グループ	作成日	
(2-1)	農業集落排水施設管理事業					下水道課	施設管理グループ	令和6年5月2日	
■総合計画の位置づけ									
基本計画	基本目標	5	【都市基盤】 良好な都市基盤が整った便利で快適に暮らせるまち					重点施策	
	施策目標	1	上下水道の充実						
	主要施策	2	農業集落排水施設等の適正管理						
	主要事業		農業集落排水施設管理事業						
SDGs 連携分野	目標6. すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する								
	目標11. 包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する								
	目標14. 持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する								
	6安全な水とトイレを世界中に 11住み続けられるまちづくりを 14海の豊かさをやろう								
■事業内容【PLAN】									
事業目的	生活環境基盤の整備及び農業用排水路その他公共用水域の水質保全を図り、受益地の環境衛生の改善を図ることを目的とします。					主な協働・関連団体等	愛知県土地改良事業団体連合会		
事業概要	農業集落排水施設は老朽化に備え、長寿命化に向けて個別施設計画（最適化構想）を策定し、適正な維持管理を図るとともに、未接続箇所の個別訪問等を行い接続を推進します。					関連する個別計画・根拠法令等	浄化槽法		
							弥富市污水处理施設条例		
事業の開始・終了	開始年度	平成18	年度	終了年度	令和10	年度			

■事業費(単位:千円)【DO】

事業内訳	令和5年度(実績)		令和5年度(計画)		令和6年度(計画)		令和7年度(計画)	
	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)
	工事請負費	185,030	工事請負費	186,722	工事請負費	186,122	工事請負費	123,922
	(補助額)	113,409	(補助額)	112,640	(補助額)	112,256	(補助額)	72,448
	委託料	82,291	委託料	91,745	委託料	95,734	委託料	92,624
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	需用費	25,374	需用費	34,779	需用費	34,779	需用費	34,779
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	役務費	900	役務費	1,750	役務費	1,750	役務費	1,750
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	保証金等	85	補償金等	785	補償金等	785	補償金等	785
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	合 計	293,680	合 計	315,781	合 計	319,170	合 計	253,860
	(補助額)	113,409	(補助額)	112,640	(補助額)	112,256	(補助額)	72,448

成果指標	単位	現状値	各年度の実績値					目標値(目指す方向性)	
		(平成29年度)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度	令和10年度
(2) 農業集落排水接続率	%	80.0	82.6	82.0	83.2	84.4	83.8	↗	↗

指標の分析	農業集落排水施設管理事業における排水接続率は、概ね順調に推移しています。
-------	--------------------------------------

■事業の評価【CHECK】

項目	評価視点	評価の結果
必要性	・住民のために効果的なものであり、求められているか ・市民ニーズ、社会需要 ・市民生活上必要であるか	農業用排水路の水質の汚濁を防止し、農業地域の基本的な生活環境の向上を図るため必要な事業です。
効率性	・前年に比べてどのように工夫したのか ・コストの削減、費用対効果 ・執行体制の効率性 ・手段の最適性	緊急性や事業効果等を検証し、工法や整備箇所を決定しています。
妥当性	・市・住民・団体で誰が実施するのが良いか	浄化槽法において、農業集落排水施設管理事業は市が行うものとされています。
施策への貢献度	・施策への貢献度 ・目標達成度 ・市民サービスへの効果	農業用排水路の水質の汚濁を防止し、農業地域の健全な水環境に資するとともに、基本的な生活環境の向上を図るために、農業集落排水施設管理事業は貢献しています。

■今後の進め方【ACTION】

課長意見	方向性
全処理地区が整備済であるため、維持管理を中心に事業を進めて行きます。また、汚水処理施設については機能強化工事を進めて行きます。(予防保全型維持管理)	現状維持

第2次総合計画実施計画事業評価シート《令和5年度分》									
事業No	実施計画に係る事業名					課	グループ	作成日	
(2-2)	コミュニティ・プラント管理事業					下水道課	施設管理グループ	令和6年5月2日	
■総合計画の位置づけ									
基本計画	基本目標	5	【都市基盤】 良好な都市基盤が整った便利で快適に暮らせるまち					重点施策	
	施策目標	1	上下水道の充実						
	主要施策	2	農業集落排水施設等の適正管理						
	主要事業		コミュニティ・プラント管理事業						
SDGs 連携分野	目標6. すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する								
	目標11. 包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する								
	目標14. 持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する								
	6 安全な水とトイレ を世界中に  11 住み続けられる まちづくりを  14 海の豊かさを まもり 								
■事業内容【PLAN】									
事業目的	生活環境基盤の整備及び農業用排水路その他公共用水域の水質保全を図り、楽荘団地の環境衛生の改善を図ることを目的とします。					主な協働・ 関連団体等	愛知県土地改良事業団体連合会		
事業概要	楽荘浄化センターの保守点検、浄化槽点検、水質検査等を適時実施し、施設の老朽化に備えて適正な維持管理を図ります。					関連する 個別計画・ 根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律		
							弥富市污水处理施設条例		
事業の開始・ 終了	開始年度	平成18	年度	終了年度	令和10	年度			

■事業費(単位:千円)【DO】

事業内訳	令和5年度(実績)		令和5年度(計画)		令和6年度(計画)		令和7年度(計画)	
	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)
	委託料	6,539	委託料	7,320	委託料	7,320	委託料	7,320
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	需用費	2,846	需用費	4,057	需用費	4,057	需用費	4,057
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	コミュニティ・プラント 工事請負費	2,475	コミュニティ・プラント 工事請負費	2,500	コミュニティ・プラント 工事請負費	2,500	コミュニティ・プラント 工事請負費	2,500
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	役務費	34	役務費	150	役務費	150	役務費	150
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	合 計	11,894	合 計	14,027	合 計	14,027	合 計	14,027
	(補助額)	0	(補助額)	0	(補助額)	0	(補助額)	0

成果指標	単位	現状値	各年度の実績値					目標値(目指す方向性)	
		(平成29年度)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度	令和10年度

指標の分析	
-------	--

■事業の評価【CHECK】

項目	評価視点	評価の結果
必要性	・住民のために効果的なものであり、求められているか ・市民ニーズ、社会需要 ・市民生活上必要であるか	楽荘団地の生活環境の改善、公衆衛生の向上、水質保全のために必要な事業です。
効率性	・前年に比べてどのように工夫したのか ・コストの削減、費用対効果 ・執行体制の効率性 ・手段の最適性	緊急性や事業効果等を検討し、工法や整備箇所を決定しています。
妥当性	・市・住民・団体が誰が実施するのが良いか	廃棄物の処理及び清掃に関する法律において、コミュニティ・プラント管理事業は市が行うものとされています。
施策への貢献度	・施策への貢献度 ・目標達成度 ・市民サービスへの効果	楽荘団地の生活環境の改善、公衆衛生の向上、水質保全による快適性を高めるために、コミュニティ・プラント管理事業は貢献しています。

■今後の進め方【ACTION】

課長意見	方向性
維持管理を中心に事業を進めて行きます。機器の老朽化に対しては、優先順位を決めて効率的に取り組ま ず。	現状維持